

「第1回ぎふメディアコスモス分館スタジアム式クロストーク」開催結果

1 開催日時・場所

- ◆日 時 令和8年10月9日（金） 18時～19時30分
- ◆会 場 みんなの森ぎふメディアコスモス 1階ドキドキテラス

2 参加者

◆中央対話者

【進 行】 名畑 恵 氏（錦二丁目エリアマネジメント株式会社代表取締役）

【中央対話者】 庵原 義隆 氏（一級建築士事務所 YY architects）

篠田 花子 氏（一般社団法人 ヒトノネ代表理事）

出村 嘉史 氏（岐阜大学教授）

長尾 勝広 氏（みんなの森 ぎふメディアコスモス館長）

◆フロア参加者 61名（事前受付35人、同日参加26人）

※事務局（9人）を除く

3 開催テーマ等

ぎふメディアコスモス分館に何を期待する？

ここでどんなことができたらい？どんなふうに過ごしたい

4 中央対話者の議論内容

・現在のハートフルスクエアGの良さを生かし、若い人にも利用してもらいながら、「見る、知る、話す、作る、試す、まちへ出る」という6つの体験がつながる建物にしてはどうか。活動の気配が伝わり、別の活動に関心を持つきっかけが生まれる空間になるとよい。

・多様な人が普通に話し合える、ケアのある社会の核となる場所が駅前にあるとよい。空間をつなぐだけでなく、来館者の話を聞き、良いところを見つけ、他の人や活動につなげる人や組織が必要ではないか。

・現在の利用者の活動を守りながら、若者の利用を増やしてはどうか。今の利用者が何を大切にし、なぜこの場所に来るのかを把握した上で、集まり、学び、活動を続けるために必要な機能を捉え直す必要がある。

・中高生が一人で来て活動し、人と出会えるユースセンターのような機能を取り入れてはどうか。人と関わりたいときには関われ、関わりたくないときには一人で過ごせる場所、目的がなくても立ち寄り、休む、話すなどして過ごせる場所があるとよい。

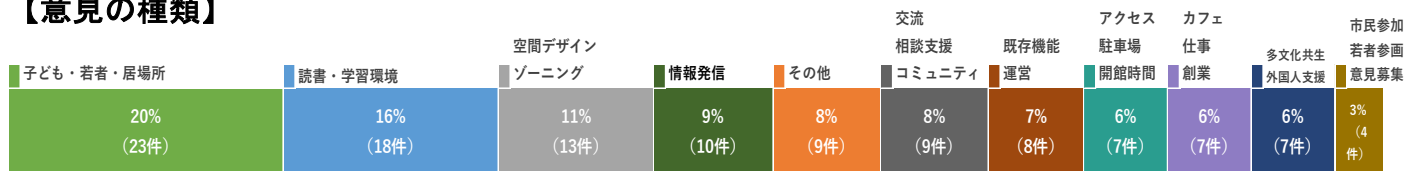
・若者だけでなく、働きづらさを抱える人、不登校の子、障がいのある人などの居場所にもなり得る。何かを求められずに過ごし、必要なときに人とつながることができ、得意なことを生かして誰かの役に立つことができるような出番があるとよい。

- ・子どものための場所、静かに過ごす場所、活動する場所など、それぞれに必要な核を持たせながら、間を緩やかにつないではどうか。高架下の構造、設備、費用、自然光の入り方を踏まえ、光を導き、空間のつながりをつくることも考えられる。
- ・外国人が仲間と集まり、情報交換できる居場所が駅前にあるとよい。日本語を学び、日本人とも交流することで、外国人の存在や困りごとを知り、自然に関わるきっかけにもなる。
- ・駅前の図書館では、別の活動から本につながる仕掛けをつくってはどうか。各エリアの活動に関係する本を置き、個性ある選書によって、若者が知らない本や世界に出会えるとよい。本を出し入れするキュレーターの人も必要ではないか。
- ・空間だけでなく、人が介在することが重要である。それぞれの分野で活動している人や団体が、施設の中で役割を果たす仕組みを考えてはどうか。若者などがつくる過程に参加し、完成後も施設とのつながりを持つことができるとよい。
- ・駅に平和資料室が置かれてきた意味を受け止める必要がある。平和を過去の戦争だけの問題とせず、異なる人が一緒に暮らし、話し合える状態として日常につなげ、施設全体の活動と結び付けてはどうか。

5 フロア参加者の意見

投稿数 115 件（延べ）

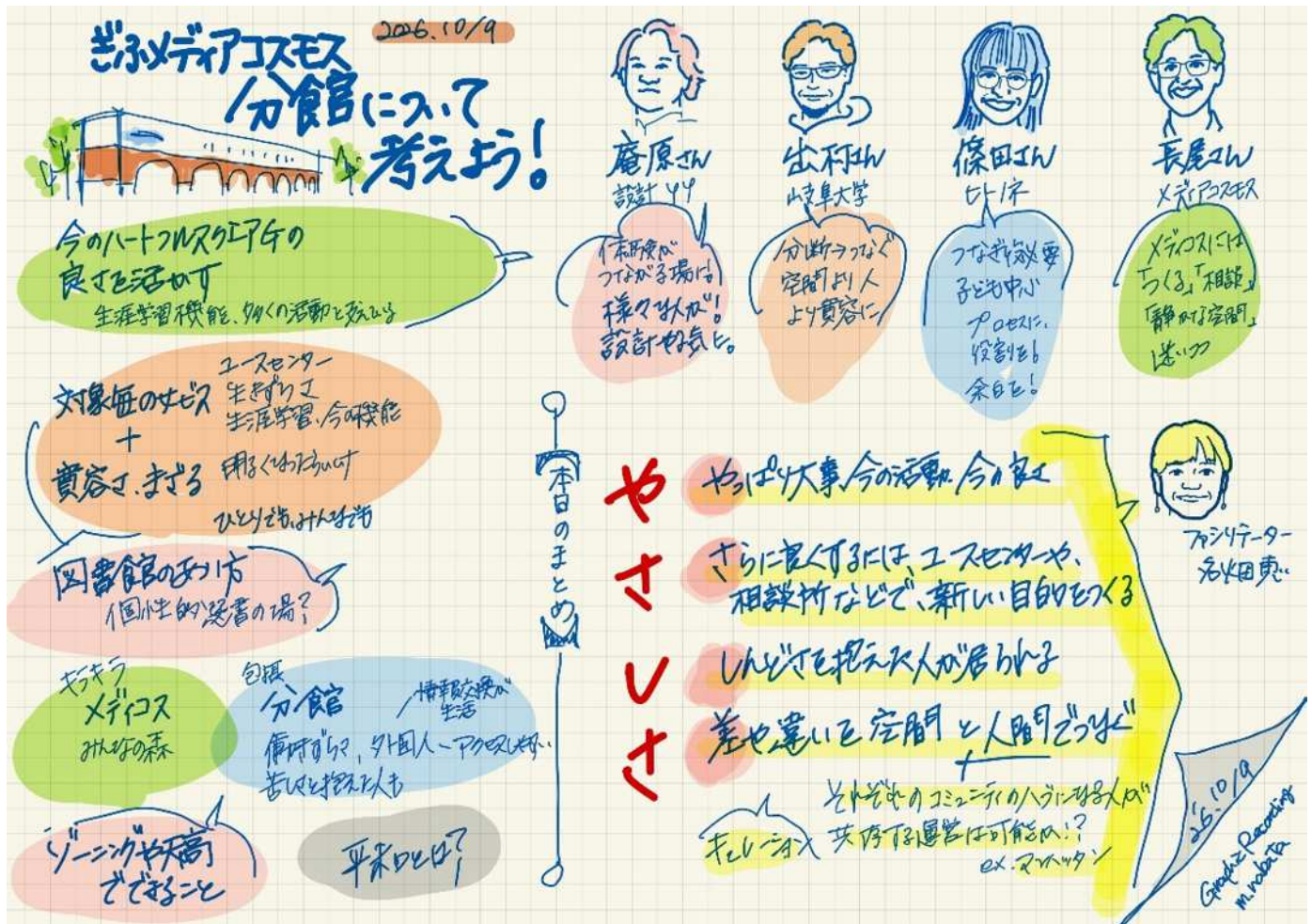
【意見の種類】



【主な意見】 ※ライクボタン(賛成)が多数押された投稿を抜粋

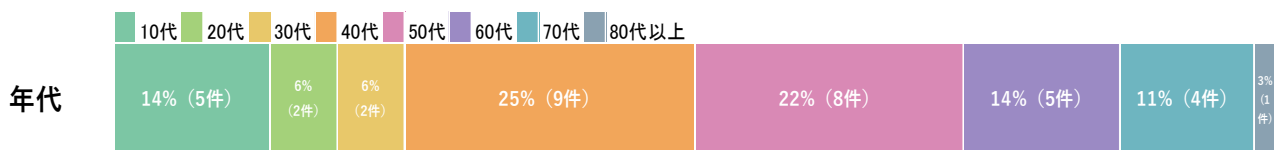
- ・ユースセンターのような子どもの居場所も大事だけど、子どもの年齢を過ぎた青年の居場所も欲しい。
不登校や通信制高校に通う子ども達が増えたけど、卒業後の18歳以降の若者が一人でも行ける場が地域の中に欲しい。子ども中心の場には20代、30代の若者は正直行きづらいと思う。
- ・逃げられる場所が欲しい。何もしなくても、意図が無くても許されているという空気を持って欲しい。
- ・若者を会議に入れて欲しい。
- ・スタジアム式クロストークを頻繁にやってほしい。
- ・大学生や中高生が入り交じって、勉強を教え合えたり、雑談できるスペースがあったら楽しそう。
学校を超えて交流できるし、高校で離れた友だちと勉強し合える。
- ・本をゆっくり読める場所があったら良い。今は図書館内の席が少なく、高齢者が長時間占拠していて、過ごしにくい。
- ・中高生の居場所やまちとつながる場所、何かをはじめるきっかけになる場所になったら良いな一

6 グラフィック ファシリテーション

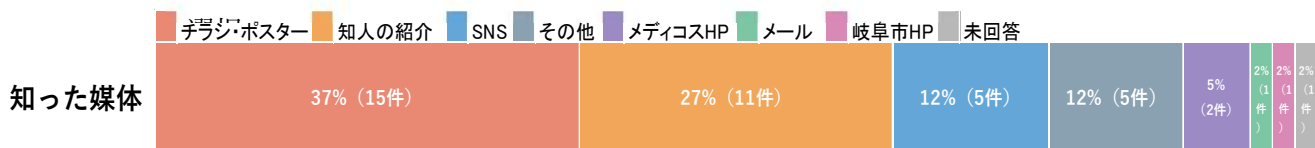


7 アンケート結果

・回収率 59% (36 人／61 人)



※満足度は「満足、やや満足、普通、やや不満、不満」から



- ・スタジアム方式という新しい手法で、多様な意見が聞けて面白かった。
- ・今後の素晴らしいリニューアルに期待。
- 主な感想
 - ・話し合いによって意見がまとまった部分もあるが、方向性はまだ決める必要があると感じる。
 - ・これまで利用している人も使いやすく、新たな年齢層の人たちももっと足を運べるような場所になればよい。